

月間展望(6月)

~ MONTHLY FORECAST ~

調査課

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

目次

~6月1日~6月30日~

調査課

菊川 弘之

- ドル円：米金利ピークアウトも
ドル円(月足) & 米10年債 . . . P 3~4
- 金：悪い金利上昇懸念が下値を支えるか
ハイ・ローバンド&52週移動平均線(週足) . . . P 5~6
- 白金：JM報告では、ロシア産供給示されず
CFTC建玉明細&IMF世界経済見通し . . . P 7~8
- 原油：上値リスク要因多い
NY原油&CFTC建玉明細(原油) . . . P 9~10
- 6月注目スケジュール) . . . P 11

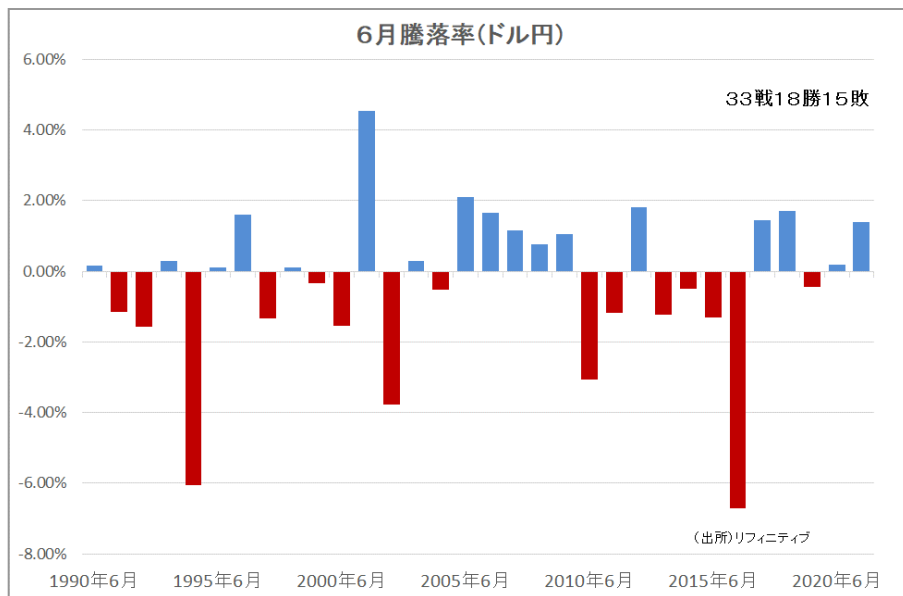
月間展望(ドル円)

~米金利ピークアウトも~

調査課

菊川 弘之

【今月見通し・戦略】



FRBは3月にゼロ金利解除を決め、5月には「量的引き締め(QT)」開始を発表した。リーマン・ショック後の米金融正常化過程では、QE終了から3年、利上げ開始から2年弱の期間においてQTが実施されたが、今回は、インフレ対策でQTの早期実施が決まった。

FOMC議事要旨で、6月、7月のFOMCで0.5%利上げが適切という見通しが示されたことに加え、9月以降のFOMCで利上げについて、経済動向次第で継続や一旦打ち止めなどに転じる可能性が意識され、ドル円は5月上旬の高値を起点に調整入りとなった。

一方、欧州中央銀行(ECB)のラガルド総裁が23日には「7月に利上げが可能になる」との見通しを示し、ECBが金融政策の正常化を加速するとの観測からユーロ高・ドル売りが強まったことも、5月のドル円の上値を抑えた要因となった。

ただし、日米の金融政策に対するスタンスの違いは明確であることに加えて、インフレ高止まりに伴う「米大幅利上げ見通し」、「QT」のダブルパンチで大きな修正を入れていた米株が、底打ち反転したこともあり、5月末には再度下値を切り上げている。

6月の季節傾向は、ドル高がやや優勢(33戦18勝15敗)。落ち着きを見せた米金利が高値更新するか否かが焦点。米10年債利回りは、6月・7月に年間の高値もしくは安値の節目を付けやすい傾向(P4下段チャート参照)があり、今年の場合、米中間選挙もあり、9月以降の利上げが一旦、小幅になる(もしくは見送られる)との思惑が高まると、金利ピークアウトが夏場に意識されるかもしれない。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(ドル円)

~ドル円(月足)&米10年債~

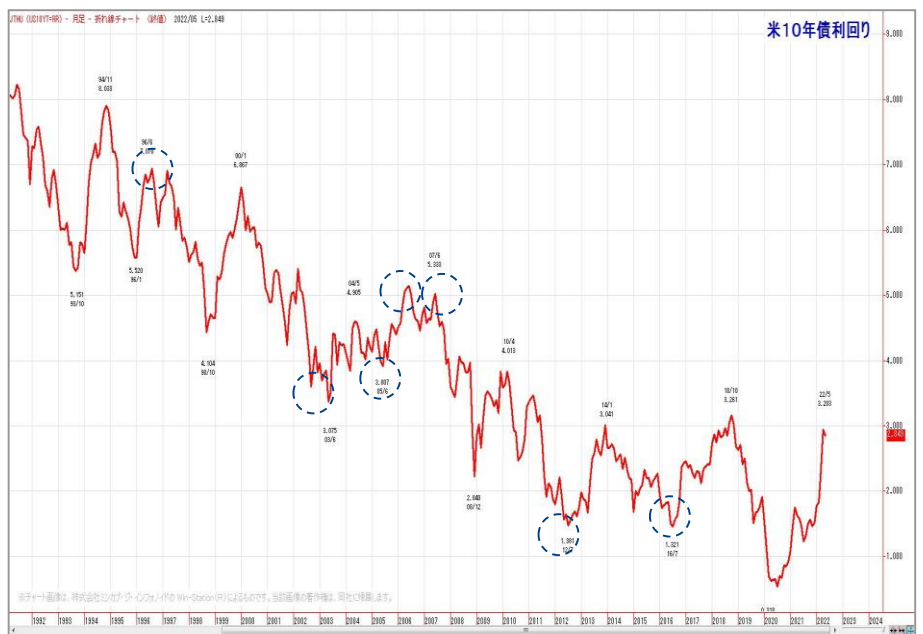
調査課

菊川 弘之

【ドル円】



【米10年債】



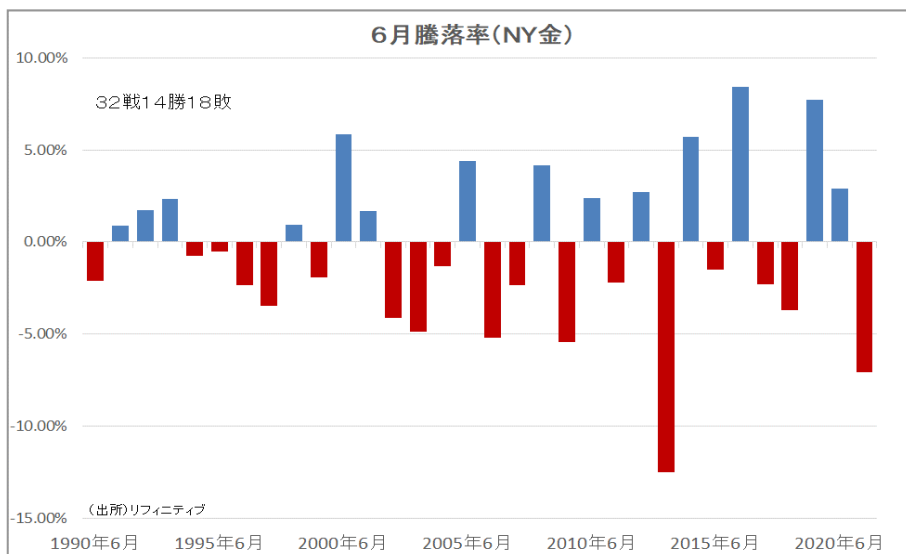
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(金:GOLD)

~悪い金利上昇懸念が下値を支えるか~

調査課

菊川 弘之



【今月見通し・戦略】

NY金のハイ・ローバンド(P7チャート上段)では、10日間高値を更新し、トレンドフォロー型指標は、これまでの陰転から中立になっている状態。

前月レポートで《5月10日~6月3日は、アストロロジで金融市場に短期で急激な上下動が起こり、テクニカル的なダマシが出やすいとされる「水星の逆行」の時間で、テクニカル的な売り圧力で下げた安値を売り込むことは避けたい》と指摘したが、週足チャート(P7チャート下段)では、ネックライン割れからダブルトップ完成。200日移動平均線を割り込んで下げ加速となったが、押し目は買い直され、5月末段階で200日移動平均線を回復している。グランビルの買い法則②となった格好だ。

金相場の上値を抑えていたユーロ安も、マリウポリ陥落と共に下値を切り上げている。ラガルドECB総裁による金利引き上げ示唆に加えて、停戦の可能性を織り込み始めているのかもしれない。

5月のNY金の月間騰落率は、やや売り優勢な時間帯(32戦14勝18敗)。

フランスやトルコ、イスラエルなどの仲介で、ロシア・ウクライナ間の停戦協議が進んでいくと、マーケット全般にリスクオンが強まるだろう。この場合、インフレ鎮静期待が浮上するかもしれないが、停戦合意がなされても、東西分断の流れは進み、冷戦時代のような高インフレ下、各国中央銀行政策の困難な舵取りは続き、「悪い金利上昇」で「米金利」も「金」も並行して上昇していく地合いとなるだろう。

一方、停戦条件を有利に持っていくため、ロシアがオデッサ制圧、沿ドニエストル共和国とつなげるところまでを目指す可能性も残る。また、NATO加盟国のポーランドが、独自にウクライナに平和維持部隊を派遣した場合、停戦は消滅、戦争は新たなステージに向かう。この場合は、金の上値リスクは一気に高まるだろう。(5/27:市場分析レポート参照)

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(金: GOLD)

~ハイ・ローバンド&52週移動平均線(週足)~

調査課

【NY金ハイ・ローバンド】

菊川 弘之



【NY金(週足)52週移動平均線】



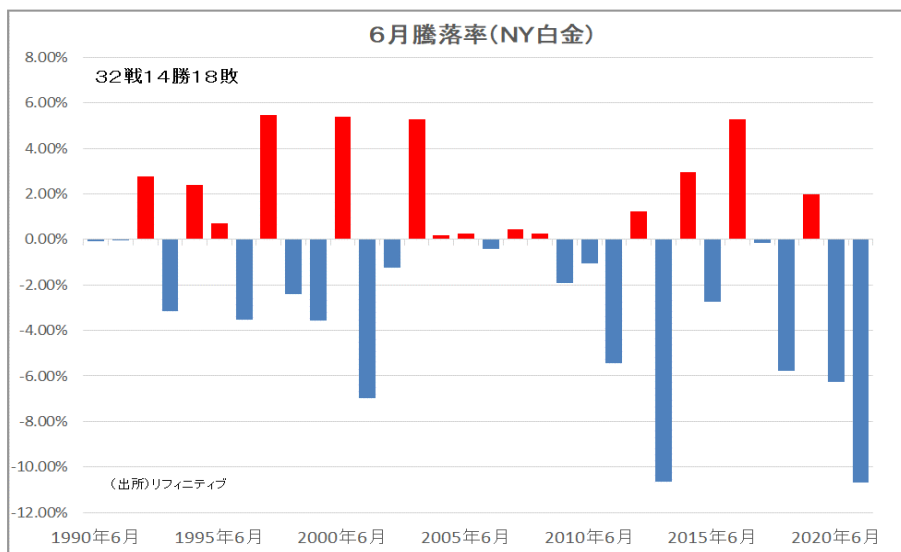
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(白金: Platinum)

~JM報告では、ロシア産供給示されず~

調査課

菊川 弘之



【今月見通し・戦略】

CFTC建玉明細(5/24現在)によると白金の大口投機玉は、1,485枚の買い越し。前週(2203枚の買い越し)から縮小。売り越しは2週間(4/26・5/3の週)だけで、そこが買い場となった格好。(P9上段チャート参照)。

CFTC建玉明細(5/24現在)によるとシカゴユーロの大口投機玉も、38,930枚の買い越しになり、前回(20,339枚の買い越し)から大幅に拡大。大口投機家のグロスの買い玉が増加、グロスの売り玉が大きく減少し、大口投機家のユーロの買い越しのポジションとしては、4月19日時点以来の3万枚以上になった。ユーロ高に振れる中、ユーロの売り方が大きく手仕舞いした格好で、金や白金の強気要因となっている。

また、5月に90年ぶりの続落となった米株が、過度のインフレ懸念が和らぎ、米金融引き締めペースが鈍化するとの見方から反発していることも強気要因。

一方、欧州自動車工業協会(ACEA)によると、4月の欧州連合(EU27)の新車(商用車)登録台数は前年同月比27.1%減の12万5034台となった。1~4月は前年同期比20.3%減の53万6408台。乗用車同様、新車登録の減少が続いている。

今年のプラチナの自動車触媒需要は、小型車の生産増加や排気ガス規制強化による使用量の増加に加え、ガソリン車でパラジウムの一部を代替する動きが続いていることから増加すると予想されているが、各国の新車販売の減少が続くと、上値を抑える要因になるとみられる。

NY白金は、強弱材料が交錯する格好で、950ドルを中心とした保合い入り。900-1000ドルレンジで、次の材料待ち。4月の月間騰落率は、売り優勢な時間帯。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

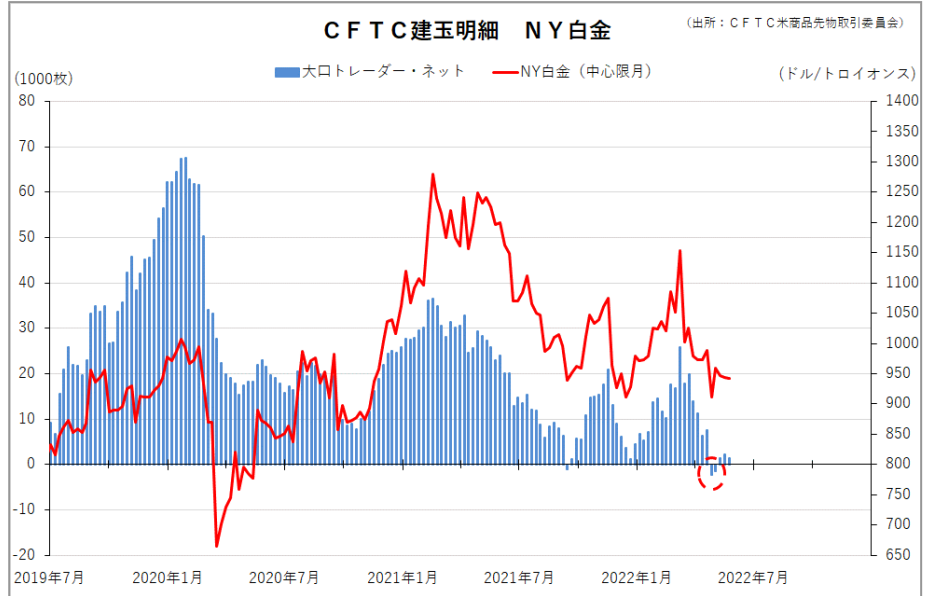
月間展望(白金: Platinum)

~CFTC建玉明細&JM(ジョンソン・マッセイ)報告~

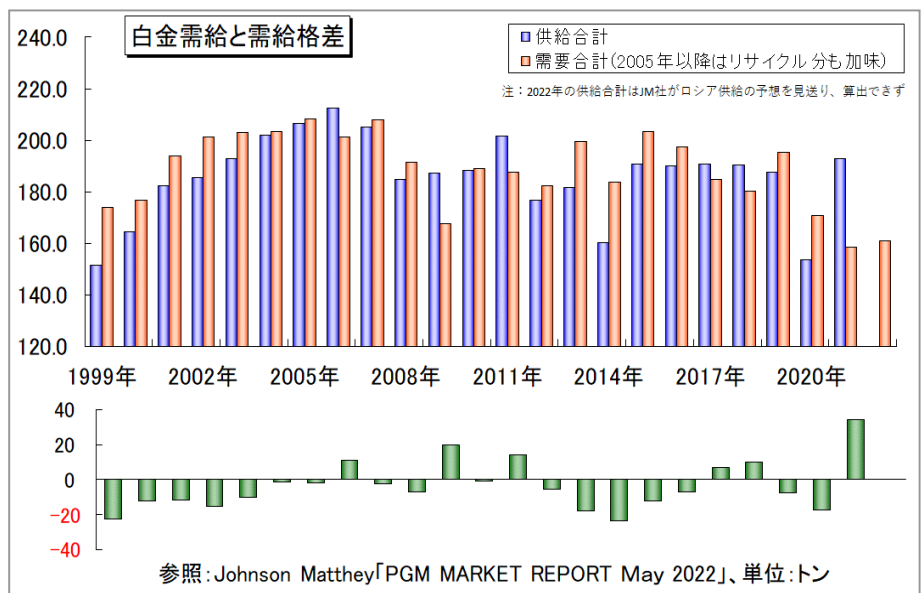
調査課

菊川 弘之

【NY白金(大口投機玉)】



【JM報告(白金需給)】



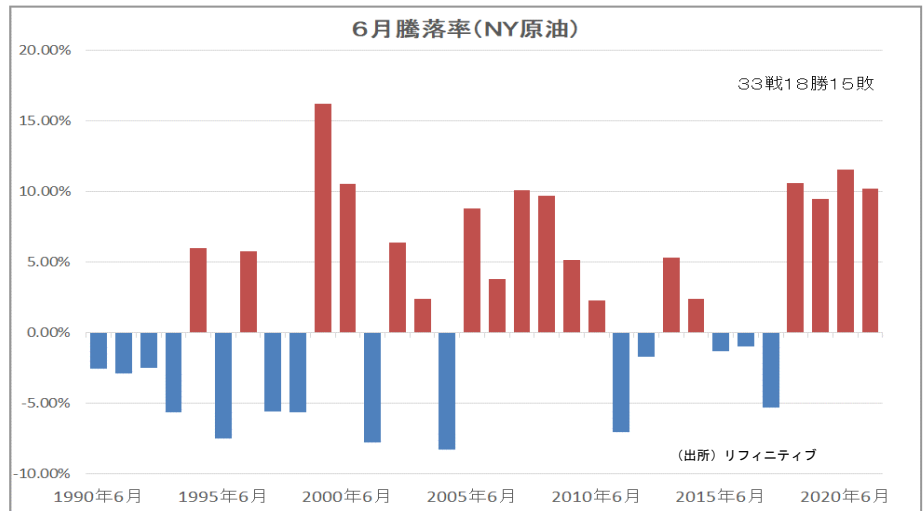
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(原油:OIL)

~上値リスク要因多い~

調査課

菊川 弘之



【今月見通し・戦略】

欧州連合(EU)は5月30日、ロシア産石油のEUへの輸入を禁止することを柱とする追加制裁で合意したが、抜け穴だらけの妥協が図られた格好だ。元々ロシア産石油は25%程度で、海上からの流通ルートが多く、しかも半分は製品輸入なので、ロシアがEU外に原油輸出して精製すれば、どこが原産かは判別はつかない。

合意した禁輸措置は海上輸送の石油を対象として、陸上パイプラインで運ばれる石油は例外扱いとなった。反対を表明していたハンガリーの石油供給には、当面影響しない。さらにハンガリーは陸上パイプラインからの供給が途絶した場合に、別の手段で供給を受けられる権利を手にした。

更に、石油以上に欧州経済に影響の高い天然ガスの扱いは、今回の制裁案ではノータッチのまま。ロシアは制裁で天然ガスの供給を止め始めているが、EUにとってガス供給停止は耐えられないが、ロシアにとっての打撃は石油の10分の1(輸出額ベース)で、制裁合戦では欧州の方が厳しいとも言える。

CFTC建玉明細(P11下段チャート参照)によると、大口投機玉の買い越しは、必ずしも過熱感のある水準ではなく、投機的な上昇というよりも、需給タイト感を背景にしたトレンド形成と考えた方が良い。仮に停戦協議が始まったとしても、原油は大きく崩れ難いだろう。今年の米国は、ガソリン高によるドライブを控える動きはあっても、コロナ明けに伴う「リベンジ旅行」で、航空機用ジェット燃料需要は大きく伸びそうだ。

米海洋大気局(NOAA)は24日、今年発生するハリケーンの数が7年連続で平均を上回る見通しだと発表しており、ハリケーンシーズン(6~11月)に発生する熱帯暴風雨の数は14~21個。6~10個がハリケーンに発達し、さらに3~6個は大型ハリケーンになる見込みと予測しており、投機的な過熱感が高まるまでは、原油の上値リスクが高い時間帯は続きそうだ。

5月末に長い上ヒゲを形成して調整を予感させるチャート形状となっているが(P11上段チャート)、110ドル水準は価格帯別出来高の厚い支持帯で、100ドルが地相場と言う流れに変化はなさそうだ。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期しておりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

月間展望(原油:OIL)

~NY原油&CFTC建玉明細大口投機玉(原油)~

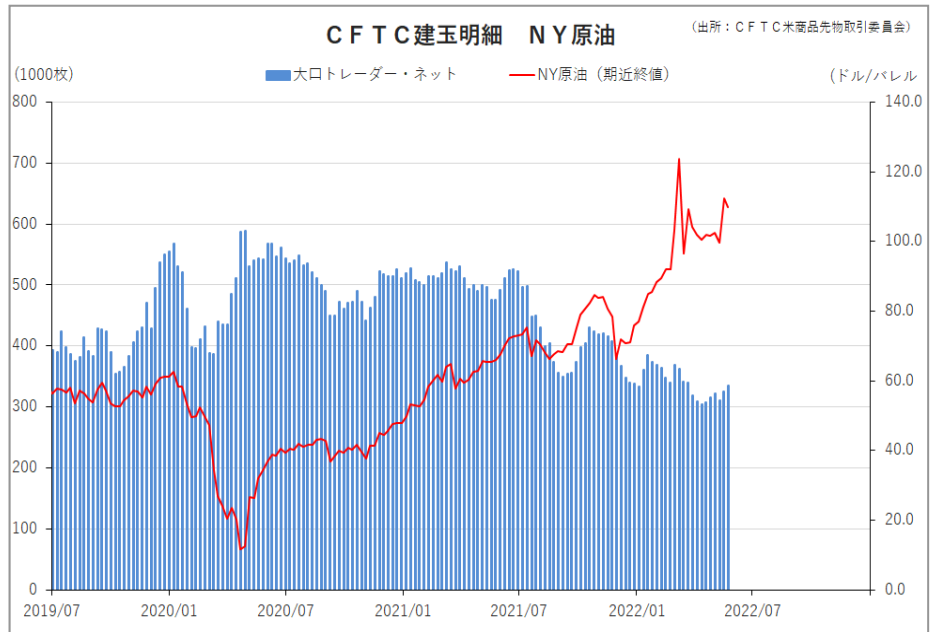
調査課

【NY原油(7月限):価格帯別出来高】

菊川 弘之



【CFTC建玉明細(NY原油)】



当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

6月注目スケジュール

~各国金融政策・停戦協議の行方に注目~

調査課

菊川 弘之

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
			1	2	3	4	
			ユーロ圏失業率 米 製造業PMI 米 ISM製造業景気指数 カナダ中銀政策金利	米 ADP雇用者数 米 耐久財受注 米 製造業新規受注 OPECプラス閣僚会議	米 雇用統計 米 ISM非製造業景気指数 中 休場(端午節)		
	5	6	7	8	9	10	11
	中 財新サービスPMI	米 貿易収支 豪 豪中銀政策金利	日 経常収支 日 貿易収支 日 GDP ユーロ圏GDP 米 卸売在庫 OECD世界経済見通し	中 貿易収支 ユーロ圏政策金利 OECD閣僚会議(〜10日) UNCTAD世界投資報告	中 消費者物価指数 中 生産者物価指数 米 消費者物価指数 米 ミシガン大学消費者信頼感指数		
	12	13	14	15	16	17	18
第12回WTO閣僚会議(〜15日、ジュネーブ)	日 景気判断BSI	日 設備稼働率 日 鉱工業生産 ユーロ圏鉱工業生産指数 米 生産者物価指数 米 FOMC(〜15日)	日 機械受注 中 鉱工業生産 中 小売売上高 米 小売売上高 米 NY連銀製造業景気指数 米 FRB政策金利 米 対米証券投資	英 英中銀政策金利 米 フィラデルフィア連銀景況指数 米 住宅建築許可件数 米 住宅着工件数	日 日銀政策金利 米 鉱工業生産指数 米 設備稼働率		
	19	20	21	22	23	24	25
		米 中古住宅販売	英 消費者物価指数 英 生産者物価指数	米 経常収支 米 製造業・サービス・総合PMI EU首脳会議(〜24日)	日 全国消費者物価指数 米 新築住宅販売戸数 米 ミシガン大学消費者信頼感指数		
	26	27	28	29	30		
G7首脳会議(〜28日、ドイツ・エルマウ)	米 耐久財受注 米 中古住宅販売成約件数	米 卸売在庫 米 S&Pケースシラー20 米 CB消費者信頼感指数	米 実質GDP NATO首脳会議(〜30日、スペイン・マドリッド)	米 PCEコアデフレーター 米 シカゴ購買部協会PMI WTO紛争解決期間会合	月内 日本 骨太方針の閣議決定予定		

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期しておりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【留意事項】

当社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じる恐れがあります。商品や取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品等ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料等及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等を十分にご確認ください。

<商号等> 日産証券株式会社 (〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-11)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号 商品先物取引業者

<加入協会> 日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会

当資料は情報提供を目的としており、弊社取扱商品に係る売買を勧誘するものではありません。内容は、正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。